

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271500953		
法人名	有限会社 青葉		
事業所名	グループホーム青葉		
所在地	長崎県北松浦郡佐々町本田原152番地		
自己評価作成日	令和6年2月10日	評価結果市町村受理日	令和6年3月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構		
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1		
訪問調査日	令和6年3月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当ホームは、町役場や商業施設等の立ち並ぶ中心地に位置し、地域との繋がりを身近に感じながら、利便性に恵まれた環境にある。「みんなで いっしょに たのしく にこにこ」の理念のもと、自然体で無理のない生活、ご家族様と利用者様が安心して過ごせるよう取り組んでいる。新型コロナ・インフルエンザ等の感染対策で、まだまだ行動制限をせざるを得ませんが、ホーム内でできるイベント等工夫し、笑いの絶えない支援に努めている。又、開設当初より続けている毎月のホーム便り(写真・ホームでの生活状況や近況報告)や毎年の「母の日」「敬老の日」は事前にメッセージカードを送付し、それぞれのお気持ちを書いていただき、いつでも身近に感じることができるようご家族様との繋がりを大事にしている。又、ホーム横に旅館を経営していることもあり、夕食は旅館で調理し提供。利用者様からは美味しいと評判で、利用者様とご家族様が元気に誰でも立ち寄りやすい、風通しの良いホーム運営に努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「みんなで いっしょに たのしく にこにこ」の理念に沿った支援を実践できているか職員が定期的に振り返りながら質の高い介護を目指しているホームである。ホームは佐々町の中心部に位置し、施設長が旅館を経営していることもあり、地域の一員として日常的に地域住民との交流ができていた。コロナやインフルエンザ感染症のため家族との面会や外出を自粛する状況が続いたが、開所時より毎月ホームだよりを発行し、入居者の状況を伝えたり、母の日や敬老の日は家族よりメッセージを届けてもらうなど、家族との絆が途切れないよう支援している。コロナ禍前は、隣接する旅館で家族と食事会を行ったり、バスハイクを企画するなど交流を深めており、今後は徐々に再開していく意向である。職員も入居者も、共に楽しく過ごしていきたいという思いが伝わり、今後ますます入居者支援に期待が持てるホームと言える。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員と利用者様にも分かりやすい理念を掲げ、職員全員が周知している。感染症対策で精神的な負担も大きいですが、業務優先にならないよう、「みんなで いっしょに たのしく にこにこと」の理念を共有し、笑いのある過ごしやすい環境作りに努め、実践に繋げている。	職員と利用者様にも分かりやすい理念を掲げ、職員全員が周知している。感染症対策で精神的な負担も大きいですが、業務優先にならないよう、「みんなで いっしょに たのしく にこにこと」の理念を共有し、笑いのある過ごしやすい環境作りに努め、実践に繋げている。	管理者が年に2回、職員と面談の機会を作り、理念に沿った支援の振り返りや介護の目標を確認している。入居者はもちろん職員も日々楽しむことをモットーに行事などの企画を行い、ホームでは笑いが絶えない環境づくりに努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	感染症対策にて外出を控える状況が継続中であり、地域との関わりが少ないが、当ホームが町の中心部にあるということもあり、地域の方からの情報等を得ることができ、状況等に合わせた交流に繋げ支援している。	感染症対策にて外出を控える状況が継続中であり、地域との関わりが少ないが、当ホームが町の中心部にあるということもあり、地域の方からの情報等を得ることができ、状況等に合わせた交流に繋げ支援している。	当ホームは町の中心部にあり、地域の酒屋やケーキ屋、花屋といった地域の商店関係者との付き合いも長い。消防団の方も運営推進会議のメンバーの一人でもあり、また、施設長が旅館を経営していることもあり、日常的に地域と交流する機会がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	感染症対策の為、毎回ではないが、地域支援会議やグループホーム協議会の参加で情報交換等、理解と支援の方法を地域に向けて活かしている。	感染症対策の為、毎回ではないが、地域支援会議やグループホーム協議会の参加で情報交換等、理解と支援の方法を地域に向けて活かしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	感染症対策の為、運営推進会議はほぼ書面での報告をしている。ご家族の面談や電話での近況報告等時、双方の意見交換やサービス向上に活かせるよう努めているが、定期的には活かせていない。	感染症対策の為、運営推進会議はほぼ書面での報告をしている。ご家族の面談や電話での近況報告等時、双方の意見交換やサービス向上に活かせるよう努めているが、定期的には活かせていない。	運営推進委員会のメンバーは役場の担当職員、地域住民、職員で構成され、入居者の受診状況、行予定、身体拘束等検討委員会の報告がなされている。尚、今年度、コロナやインフルエンザなど感染拡大のため対面による運営推進会議はできておらず、資料送付に留まった。	今回、家族アンケートの回収の多さから家族もホームの取り組み状況などをもっと知りたいという意向が伺え、今後、家族にも運営推進委員会のメンバーになってもらうことを働きかけることを期待したい。また、参加できない家族には資料や報告書等を家族に閲覧してもらい、ホームの現状や取り組みを知ってもらう機会を増やしていくことを期待したい。

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議やグループホーム協議会、地域支援会議等、感染症対策の為、殆ど実施できていないが、状況により連絡や電話での報告等行い、協力関係を築いている。	運営推進会議やグループホーム協議会、地域支援会議等、感染症対策の為、殆ど実施できていないが、状況により連絡や電話での報告等行い、協力関係を築いている。	役場がホームの近隣にあり、何かあれば相談に出向いている。町の担当職員も運営推進委員会のメンバーとなっており、ホームの要望や取り組みを積極的に伝えながら地域の情報交換を行い、協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいる。感染状況を見ながら外部の研修にも参加し、身近な問題等、常にスタッフと話し合い、拘束をしないケアを心掛けている。又、身体拘束の指針やマニュアル等、職員周知を図り理解を深めている。運営推進会議での身体拘束適正化委員会を位置付け報告している。	取り組んでいる。感染状況を見ながら外部の研修にも参加し、身近な問題等、常にスタッフと話し合い、拘束をしないケアを心掛けている。又、身体拘束の指針やマニュアル等、職員周知を図り理解を深めている。運営推進会議での身体拘束適正化委員会を位置付け報告している。	ホームが玄関出てすぐ車道に面していることもあり、安全対策のため、職員が少ない夕方から朝までは玄関の施錠を行っているが、日中は施錠はしていない。センサーマットや赤外線センサーの使用もない。常に申し送りやケア会議の中で身体拘束をしないケアの話し合いを行い、職員は外部研修にも参加して研鑽している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	利用者様の状況・状態観察を日々行い、日常会話の中でも防止に努め、常に意識している。特に入浴時には、全身観察で注意を払い、異常(アザ等)があれば問題視し、状況や原因を話し合っている。	利用者様の状況・状態観察を日々行い、日常会話の中でも防止に努め、常に意識している。特に入浴時には、全身観察で注意を払い、異常(アザ等)があれば問題視し、状況や原因を話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について学ぶ機会はないが、代表者の専門分野でもあり、いつでも相談できる。必要性があれば、関係者と話し合い、それらを活用できる環境にある。	制度について学ぶ機会はないが、代表者の専門分野でもあり、いつでも相談できる。必要性があれば、関係者と話し合い、それらを活用できる環境にある。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、疑問点等あればその都度説明を行い、理解と同意を得ている。改定があればその都度通知し、理解を得た上で同意を得ている。	十分な説明を行い、疑問点等あればその都度説明を行い、理解と同意を得ている。改定があればその都度通知し、理解を得た上で同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	感染症対策の為、会議や面会等制限ある状況にあるが、面会やご家族対応の病院受診時や利用料の入金時等、玄関先ではあるが、近況報告や意見・要望等を聞いている。又、利用者様の状態変化等の報告時は、電話にて意見や要望等、ご家族の思いを汲み取り、不安感の軽減に努めている。	感染症対策の為、会議や面会等制限ある状況にあるが、面会やご家族対応の病院受診時や利用料の入金時等、玄関先ではあるが、近況報告や意見・要望等を聞いている。又、利用者様の状態変化等の報告時は、電話にて意見や要望等、ご家族の思いを汲み取り、不安感の軽減に努めている。	面会に来た際や電話などで家族の意向を聞くようにしている。本外部評価で実施する家族アンケートに関して、多くの家族より返信があった。アンケート内容からも家族がホームに対する思いや意向を汲み取ることができ、管理者は運営に具体的に反映させていく意向である。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送り、日々の報告や相談、ケア会議等々、自由に意見や提案を聞きやすい環境作りを努め、反映させている。	毎日の申し送り、日々の報告や相談、ケア会議等々、自由に意見や提案を聞きやすい環境作りを努め、反映させている。	ホームでは毎日の申し送り、月1回のケア会議や年に2回の個人面談などで職員の提案や意見を聞く機会を設けている。毎月1回のケア会議においては会議前に、職員に対し課題と思うこと、それに対する対策案などを記述してもらい、会議の中で職員より具体的に意見が出せるようなしくみができている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の努力や実績、勤務状況と労働時間等を把握し、働きやすい職場環境の整備や条件の整備に努めている。	職員個々の努力や実績、勤務状況と労働時間等を把握し、働きやすい職場環境の整備や条件の整備に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年に2回、職員自身の自己評価、それに伴った上司の評価を行い個人面談を実施し、職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、良い所を伸ばし良いケアの実践に繋げている。感染症対策の為、外部研修の参加は少ないが、出来るだけ参加する機会の確保に努めている。又、経験の少ない職員等には、働きながら熟練者が指導を行っている。	年に2回、職員自身の自己評価、それに伴った上司の評価を行い個人面談を実施し、職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、良い所を伸ばし良いケアの実践に繋げている。感染症対策の為、外部研修の参加は少ないが、出来るだけ参加する機会の確保に努めている。又、経験の少ない職員等には、働きながら熟練者が指導を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	感染症対策の為、交流する機会は少ないが、地域支援会議やグループホーム協議会の参加等、少しずつ交流も増え、情報交換等を通じてサービスの質を向上させていく取り組みに努めている。	感染症対策の為、交流する機会は少ないが、地域支援会議やグループホーム協議会の参加等、少しずつ交流も増え、情報交換等を通じてサービスの質を向上させていく取り組みに努めている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の面談にて直接ご本人の状態を確認し、コミュニケーションを取りながら、ご本人やご家族の思いを聞き取れるよう努めている。又、関係機関から情報収集を行い、職員も情報共有。ご本人の安心した生活と関係づくりに努めている。	入所前の面談にて直接ご本人の状態を確認し、コミュニケーションを取りながら、ご本人やご家族の思いを聞き取れるよう努めている。又、関係機関から情報収集を行い、職員も情報共有。ご本人の安心した生活と関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前の面談でご本人やご家族の状態を把握し、不安な事や困ってる事等傾聴している。ご家族の環境、性格等を考えながらペースに合わせ、会話で安心できるよう、情報を引き出し、笑顔で接することを忘れないよう丁寧な対応に心掛け、ご本人とご家族の安心を確保する関係づくりに努めている。	入所前の面談でご本人やご家族の状態を把握し、不安な事や困ってる事等傾聴している。ご家族の環境、性格等を考えながらペースに合わせ、会話で安心できるよう、情報を引き出し、笑顔で接することを忘れないよう丁寧な対応に心掛け、ご本人とご家族の安心を確保する関係づくりに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当ホームに申し込まれても必要に応じ、他の施設の申し込みも含め(待機状況)、あらゆる方向性(広い視野)を考え、同じ目線でご本人やご家族が安心できるようなサービス対応に努めている。	当ホームに申し込まれても必要に応じ、他の施設の申し込みも含め(待機状況)、あらゆる方向性(広い視野)を考え、同じ目線でご本人やご家族が安心できるようなサービス対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	片付けや洗濯物たたみ等、一緒に出来ることはして頂きながら、その時の会話を大事にしている。その日のメニューを毎食前に代表(当番制)で言っていたり、ご本人の自信に繋がるよう、常に相手の立場になり、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	片付けや洗濯物たたみ等、一緒に出来ることはして頂きながら、その日の会話を大事にしている。その日のメニューを毎食前に代表(当番制)で言っていたり、ご本人の自信に繋がるよう、常に相手の立場になり、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族やご本人の立場を尊重し対応している。感染症対策の為、面会や大きな行事(敬老会・母の日会)、ご家族と一緒に過ごしていただく事等実施できていないが、日頃の生活の様子や近況報告(ホーム便り)を毎月送付している。又、敬老会・母の日会の前には、事前にメッセージカードを送付し、ご家族の思いを書いていただき、写真と一緒に毎年各居室に飾り、ご家族の思いがいつでも感じられるよう、ご本人とご家族の絆を大切にしながら、共にご本人を支えていく関係を築いている。	ご家族やご本人の立場を尊重し対応している。感染症対策の為、面会や大きな行事(敬老会・母の日会)、ご家族と一緒に過ごしていただく事等実施できていないが、日頃の生活の様子や近況報告(ホーム便り)を毎月送付している。又、敬老会・母の日会の前には、事前にメッセージカードを送付し、ご家族の思いを書いていただき、写真と一緒に毎年各居室に飾り、ご家族の思いがいつでも感じられるよう、ご本人とご家族の絆を大切にしながら、共にご本人を支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前の面談時に、生活歴を聞き取り、日頃の会話の中で得た馴染みの関係などの記録を残し、その関係を継続できるよう支援している。感染症対策にて制限はあるが、ご家族との電話での会話やご家族・友人からの手紙、毎年の敬老の日と母の日のメッセージカード(ご家族・孫様)等、馴染みの場所へなかなか行けませんが、馴染みの人やご家族が身近な存在であるよう、関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所前の面談時に、生活歴を聞き取り、日頃の会話の中で得た馴染みの関係などの記録を残し、その関係を継続できるよう支援している。感染症対策にて制限はあるが、ご家族との電話での会話やご家族・友人からの手紙、毎年の敬老の日と母の日のメッセージカード(ご家族・孫様)等、馴染みの場所へなかなか行けませんが、馴染みの人やご家族が身近な存在であるよう、関係が途切れないよう、支援に努めている。	現在は感染症対策で面会制限を行っている。その為、毎月入居者の笑顔の写真を掲載している青葉だよりが、本人の状況を知る重要な役割を担っていることが家族アンケートからも確認できた。コロナ禍前は年に2回は家族と一緒に食事会やバスハイクなどを行ったこともあり、管理者は、今後、状況をみながら家族との行事等も再開したい意向である。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お一人おひとりの性格を考慮し、席の配置や職員の働きかけと情報の共有。レクリエーションやお手伝い等を通し、利用者様の相性、関係性を把握し、トラブルがないよう利用者様同士が関わり合う環境を多く見つけ笑いがあり、支え合えるよう支援に努めている。	お一人おひとりの性格を考慮し、席の配置や職員の働きかけと情報の共有。レクリエーションやお手伝い等を通し、利用者様の相性、関係性を把握し、トラブルがないよう利用者様同士が関わり合う環境を多く見つけ笑いがあり、支え合えるよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に入所されても様子を伺ったり、必要に応じてご家族の経過フォローし、相談や支援に努めている。	他施設に入所されても様子を伺ったり、必要に応じてご家族の経過フォローし、相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様の声に耳を傾け、これまでの習慣等を理解し職員間で情報の共有。3ヶ月毎のケアプラン見直しにてケア会議を行い、日頃の会話の中から汲み取った、希望やご本人の意向を話し合っている。ご本人にあった日常生活、好きな事や思いの把握。自分らしくご本人が望む暮らしができるよう努めている。	利用者様の声に耳を傾け、これまでの習慣等を理解し職員間で情報の共有。3ヶ月毎のケアプラン見直しにてケア会議を行い、日頃の会話の中から汲み取った、希望やご本人の意向を話し合っている。ご本人にあった日常生活、好きな事や思いの把握。自分らしくご本人が望む暮らしができるよう努めている。	入居時に家族、本人からしっかりと生活に対する意向や思いを聴き取っている。職員は日常の何気ない会話の中で入居者本人の要望や困りごとを汲み取り、それを職員間で情報共有し、本人がにこにこ楽しく生活してもらえるよう支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報や収集した情報(生活歴)等で把握している。又、ご本人やご家族との会話で得た情報等、職員間で情報交換、経過を申し送り等で把握に努めている。	基本情報や収集した情報(生活歴)等で把握している。又、ご本人やご家族との会話で得た情報等、職員間で情報交換、経過を申し送り等で把握に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	記録や申し送り等にて利用者様の心身状態や有する力等、毎日の現状を把握するように努めている。日頃の心身状態の観察、日々の目配りを行い、少しの変化にも気付けるよう努めている。	記録や申し送り等にて利用者様の心身状態や有する力等、毎日の現状を把握するように努めている。日頃の心身状態の観察、日々の目配りを行い、少しの変化にも気付けるよう努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常の意見交換(情報の共有)や定期的なケア会議。ご本人の日常生活の中で事前に「私の困っていること」の課題提出を実施し、意見を出し合い現状の検討。「私の困っていること」「どのようにになりたい・なしてほしい」か、ご家族に電話での意向や意見を尋ね、ご家族の共通理解に繋げている。「何をどのようにするのか」ケアの方針、日々の気づきを共有し反映した介護計画作成に努めている。	日常の意見交換(情報の共有)や定期的なケア会議。ご本人の日常生活の中で事前に「私の困っていること」の課題提出を実施し、意見を出し合い現状の検討。「私の困っていること」「どのようにになりたい・なしてほしい」か、ご家族に電話での意向や意見を尋ね、ご家族の共通理解に繋げている。「何をどのようにするのか」ケアの方針、日々の気づきを共有し反映した介護計画作成に努めている。	職員の日々の観察記録が介護計画と連動できるよう書式を工夫している。職員全員が、本人、家族の意欲や要望、目標に対する支援方法、達成度など把握し、ケア会議やモニタリングにて職員の意見が反映し現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に毎日記録している。特別な出来事(気づき)がある時は、業務日誌(特記事項)やケース記録に記入。必要に応じて、メモ紙や申し送り帳に記入。情報を共有しながら実践に努めている。	個別に毎日記録している。特別な出来事(気づき)がある時は、業務日誌(特記事項)やケース記録に記入。必要に応じて、メモ紙や申し送り帳に記入。情報を共有しながら実践に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の変化や状況、ご家族の状況等に合わせ話し合い、その時々ニーズに合わせた柔軟な対応・支援ができるよう取り組んでいる。	ご本人の変化や状況、ご家族の状況等に合わせ話し合い、その時々ニーズに合わせた柔軟な対応・支援ができるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察や消防団、ボランティアの協力の依頼。感染症対策の為、状況を見ながら、地域の行事の参加等、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう努めている。	警察や消防団、ボランティアの協力の依頼。感染症対策の為、状況を見ながら、地域の行事の参加等、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう努めている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前のかかりつけ医を継続し受診することが多く、ご家族やご本人の希望に応じ、納得が得られた医療を受けられるよう支援している。その時々々の症状に応じ、何かあればかかりつけ医に相談し、専門医への受診。適切な医療を受け、早期発見と早期対応で重症化を防ぐよう支援している。その都度、必要に応じてご家族に報告している。	入所前のかかりつけ医を継続し受診することが多く、ご家族やご本人の希望に応じ、納得が得られた医療を受けられるよう支援している。その時々々の症状に応じ、何かあればかかりつけ医に相談し、専門医への受診。適切な医療を受け、早期発見と早期対応で重症化を防ぐよう支援している。その都度、必要に応じてご家族に報告している。	本人、家族が希望する医療機関を受診できるよう支援をしている。町内の医療機関であれば皮膚科や眼科なども職員が受診に同行している。体調や受診結果に関し、常に家族へ連絡・報告を行い、情報共有をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員が各ユニットに配置。薬の管理や健康管理面、病院受診の必要性等の相談や助言を受け、職員と協力し合い適切な受診や看護が受けられるよう支援している。基本、早期発見・早期受診を心掛けている。	看護職員が各ユニットに配置。薬の管理や健康管理面、病院受診の必要性等の相談や助言を受け、職員と協力し合い適切な受診や看護が受けられるよう支援している。基本、早期発見・早期受診を心掛けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	ホームでの生活が継続可能か、入院時の様子や状態観察、病院関係者との細かい情報交換を行い、お互い安心できる関係づくりに努めている。感染対策にて状況を見ながら、入院中に出向き、様子を伺い、職員と共有し退院後のホームでの生活が安心できるよう努めている。	ホームでの生活が継続可能か、入院時の様子や状態観察、病院関係者との細かい情報交換を行い、お互い安心できる関係づくりに努めている。感染対策にて状況を見ながら、入院中に出向き、様子を伺い、職員と共有し退院後のホームでの生活が安心できるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化し医療処置が必要となった場合、どこまで対応できるか文章化し、入居時に重要事項についての説明とともに同意を得ている。今後予測できる事等、状態変化に応じてご家族と話し合いを行い、当ホームが出来る事、出来ない事等理解していただき、どこまで支援できるか、他施設の情報・見学等、ご本人やご家族が安心できるよう、終末期に向けた方針の共有に努めている。	重度化し医療処置が必要となった場合、どこまで対応できるか文章化し、入居時に重要事項についての説明とともに同意を得ている。今後予測できる事等、状態変化に応じてご家族と話し合いを行い、当ホームが出来る事、出来ない事等理解していただき、どこまで支援できるか、他施設の情報・見学等、ご本人やご家族が安心できるよう、終末期に向けた方針の共有に努めている。	ホームでは看取り支援を行わない方針であり、入居時は本人、家族に重要事項の説明を行い、同意を得ている。重症化した場合は早い段階より家族とホームで十分に話し合いができる機会を持ち、ホームですることを説明している。緊急時のマニュアルを整備し、職員がすぐに確認できるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的には行っていないが、職員が不安に思う時等、その都度、看護師を交え、話す機会を設けている。マニュアルはすぐに確認できるように準備している。	定期的には行っていないが、職員が不安に思う時等、その都度、看護師を交え、話す機会を設けている。マニュアルはすぐに確認できるように準備している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	避難訓練を行い、地域の消防団との連携体制できている。近隣のタクシー会社や商店の方々も協力体制をお願いしている。風水害や地震を想定した防災計画は作成している。又、チェックシートにて、毎日点検を行い、設備等の不備の確認を行い、火災等を未然に防ぐ為の対策をしている。	避難訓練を行い、地域の消防団との連携体制できている。近隣のタクシー会社や商店の方々も協力体制をお願いしている。風水害や地震を想定した防災計画は作成している。又、チェックシートにて、毎日点検を行い、設備等の不備の確認を行い、火災等を未然に防ぐ為の対策をしている。	年2回、消防訓練を実施し、地域の消防団などに有事の際の協力依頼もできている。避難先の受け入れに關し公的施設への調整ができていない状況で当ホームの施設長が近くの寺院に依頼したケースもあった。	建物の構造上、有事の際は地域住民の協力が不可欠であり、地域住民に継続的に協力を働きかけ、訓練を実施することを期待したい。また、ホームは浸水危険区域であることを踏まえ、風水害や地震など自然災害を想定した訓練の実施を期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや言葉遣いに関して、常に課題意識を持っている。丁寧な言葉遣いの中にも親しみを込め、利用者様の状況や人格を尊重した言葉かけ、人生の先輩・お客様としての対応を心掛けている。感染症対策で制限のある中、ストレスを溜め込まないよう、ホーム内で出来る事、お互い楽しむ事、職員の心も穏やかに不適切なケアにならないよう努めている。	言葉かけや言葉遣いに関して、常に課題意識を持っている。丁寧な言葉遣いの中にも親しみを込め、利用者様の状況や人格を尊重した言葉かけ、人生の先輩・お客様としての対応を心掛けている。感染症対策で制限のある中、ストレスを溜め込まないよう、ホーム内で出来る事、お互い楽しむ事、職員の心も穏やかに不適切なケアにならないよう努めている。	日頃より施設長が職員に「人生の先輩である入居者には、優しい言葉を使うように」と指導し、職員全員が常に意識して支援に努めている。居室のポータブルトイレは日中使用しない場合はカバーをするなど目隠しをし、本人の尊厳を傷つけないよう配慮している。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	談笑の中で思いを聞き取り、可能な方には選択をしていただく。食事前には代表で(当番制)メニューと「いただきます」と声を出し、ご自身の役割(自信)が持てるよう努めている。又、自己決定が困難な方は、日常の会話や行動の中で汲み取り「○○しますか？」と表情を見ながら出来ることを見つけ、自己決定できるように働きかけている。	談笑の中で思いを聞き取り、可能な方には選択をしていただく。食事前には代表で(当番制)メニューと「いただきます」と声を出し、ご自身の役割(自信)が持てるよう努めている。又、自己決定が困難な方は、日常の会話や行動の中で汲み取り「○○しますか？」と表情を見ながら出来ることを見つけ、自己決定できるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務優先にならないよう努めているが、お一人おひとりの希望に添えることは難しい。感染症対策の為、外出やご家族の面会も制限があり、可能な限り個々のペースを大切に支援している。	業務優先にならないよう努めているが、お一人おひとりの希望に添えることは難しい。感染症対策の為、外出やご家族の面会も制限があり、可能な限り個々のペースを大切に支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時の洗面や入浴後の整髪、病院受診時の身だしなみはきれいを中心掛けている。散髪は定期的に訪問をお願いしている。	起床時の洗面や入浴後の整髪、病院受診時の身だしなみはきれいを中心掛けている。散髪は定期的に訪問をお願いしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居時にご本人の嗜好・食物アレルギーについてご家族より聞き取り確認し、日頃の摂取状況にて把握している。又、食事の後片付け等、出来る事はしていただき、無理や不満がないよう一緒に楽しみながら、感謝の言葉も心掛けている。ワイン会や忘年会、ノンアルで乾杯等、イベント等職員も一緒に食事を楽しんでいる。	入居時にご本人の嗜好・食物アレルギーについてご家族より聞き取り確認し、日頃の摂取状況にて把握している。又、食事の後片付け等、出来る事はしていただき、無理や不満がないよう一緒に楽しみながら、感謝の言葉も心掛けている。ワイン会や忘年会、ノンアルで乾杯等、イベント等職員も一緒に食事を楽しんでいる。	施設長が旅館を経営をしていることもあり、プロの料理人による調理で夕食が提供されている。おせち料理など行事食も手作りで、食事を楽しんでもらえるよう取り組み、入居者や家族からも喜ばれている。ワイン会や忘年会ではノンアルコールで乾杯し、入居者も職員と一緒に楽しまれている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の記録の活用、食事形態等、個々に合わせた食事を提供し、声掛けや食事介助を行い、摂取量がいつでも確認できるようにしている。カロリー計算は行っていないが、Drより指示があれば、その方に応じた(出来る範囲)食事を提供している。健康状態によっては、水分量の記録も行っている。	食事摂取量の記録の活用、食事形態等、個々に合わせた食事を提供し、声掛けや食事介助を行い、摂取量がいつでも確認できるようにしている。カロリー計算は行っていないが、Drより指示があれば、その方に応じた(出来る範囲)食事を提供している。健康状態によっては、水分量の記録も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者様の状態に応じた口腔ケアを実施している。毎日、業務確認表にてチェックしている。必要に応じて歯科受診(往診)をお願いしている。	毎食後、利用者様の状態に応じた口腔ケアを実施している。毎日、業務確認表にてチェックしている。必要に応じて歯科受診(往診)をお願いしている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本に、個々の排泄パターンに応じてトイレ誘導している。訴えがない方でも排泄パターンをつかみ、できるだけ綿パンツで過ごしていただき、自立にむけた支援を行っている。失敗なくトイレでの排泄、気持ちよく生活ができるよう支援している。	トイレでの排泄を基本に、個々の排泄パターンに応じてトイレ誘導している。訴えがない方でも排泄パターンをつかみ、できるだけ綿パンツで過ごしていただき、自立にむけた支援を行っている。失敗なくトイレでの排泄、気持ちよく生活ができるよう支援している。	排泄チェック表にて排泄パターンを把握し、尿意のない入居者も日中はトイレへ誘導している。オムツ代の負担軽減も考え、布パンツで過ごしていただけるように排泄の自立に向け支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	起床時の水分補給、十時のお茶の時間には、牛乳や豆乳を提供。毎日の体操等を行い取り組んでいる。又、必要に応じ野菜ジュースの提供や状況によって主治医に相談をしている。排泄チェック表にて排便の有無を把握している。	起床時の水分補給、十時のお茶の時間には、牛乳や豆乳を提供。毎日の体操等を行い取り組んでいる。又、必要に応じ野菜ジュースの提供や状況によって主治医に相談をしている。排泄チェック表にて排便の有無を把握している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日は決まっているが、お一人おひとりのタイミングに合わせて、ご本人が望まない時は無理強いせず、希望に応じている。その日の体調に考慮し、限られた時間の中でゆっくりと個別に対応し、できる事は見守りに対応。コミュニケーションを図りながら、寛いだ時間、ゆったりと楽しんでいただけるよう支援している。	入浴日は決まっているが、お一人おひとりのタイミングに合わせて、ご本人が望まない時は無理強いせず、希望に応じている。その日の体調に考慮し、限られた時間の中でゆっくりと個別に対応し、できる事は見守りに対応。コミュニケーションを図りながら、寛いだ時間、ゆったりと楽しんでいただけるよう支援している。	週に2回入浴できるように支援している。入浴剤を使うなど入居者が入浴を楽しめるよう支援している。体調不良で入浴できない場合は清拭やドライシャンプー、更衣を行い、清潔保持に努めている。入浴への拒否がある方には「お風呂」という言葉を使わずに声かけするなど工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の状況や希望に応じている。日中通してリビングで過ごされる方が多く、昼食後より休む(昼寝)時間を取り入れている。希望を伺い個々に合わせ、安心してゆっくりとした時間を提供。夜間の安眠を妨げない程度の休息をとっていただき、身体の負担軽減に努めている。就寝時は、寝具の調節や居室の温度調節をし、必要に応じてトイレの設置を行い、安眠できるよう支援している。	ご本人の状況や希望に応じている。日中通してリビングで過ごされる方が多く、昼食後より休む(昼寝)時間を取り入れている。希望を伺い個々に合わせ、安心してゆっくりとした時間を提供。夜間の安眠を妨げない程度の休息をとっていただき、身体の負担軽減に努めている。就寝時は、寝具の調節や居室の温度調節をし、必要に応じてトイレの設置を行い、安眠できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	少しの変化に気付き、早期発見・早期対応に心掛けている。薬の変更や臨時薬がある時は、主治医や薬剤師の指導のもと、記録や情報交換、周知徹底を行い把握している、職員は誤薬がないよう二重チェックしている。薬の説明書(副作用)等、いつでも確認できるよう、個々のファイルに綴じ理解に努めている。	少しの変化に気付き、早期発見・早期対応に心掛けている。薬の変更や臨時薬がある時は、主治医や薬剤師の指導のもと、記録や情報交換、周知徹底を行い把握している、職員は誤薬がないよう二重チェックしている。薬の説明書(副作用)等、いつでも確認できるよう、個々のファイルに綴じ理解に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の出来る事、出来ない事を理解し、気分転換に繋げたレクリエーション、得意なことを活かした、ご本人の自信に繋がるお手伝い等、役割や出来た時の喜びを共に共有し、張り合いや楽しみごと、ワクワクを感じるような支援に努めている。	個々の出来る事、出来ない事を理解し、気分転換に繋げたレクリエーション、得意なことを活かした、ご本人の自信に繋がるお手伝い等、役割や出来た時の喜びを共に共有し、張り合いや楽しみごと、ワクワクを感じるような支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	感染症対策の為制限のある中、状況を見ながら、近場のドライブ、近隣のお祭り(おくんち)、敷地内散歩等出かけている。おくんちは、近隣の協力のもと実施。ホーム内でも季節感や外出の雰囲気を感じられるよう支援し、今後の状況を見ながら、外出支援に努める。	感染症対策の為制限のある中、状況を見ながら、近場のドライブ、近隣のお祭り(おくんち)、敷地内散歩等出かけている。おくんちは、近隣の協力のもと実施。ホーム内でも季節感や外出の雰囲気を感じられるよう支援し、今後の状況を見ながら、外出支援に努める。	今年度は地域の方の声かけもあり、地域の「おくんち」の見学ができた。入居者からも「外に出たい」という声もあり、今後は、敷地内の散歩や、ドライブ、花見や買い物など、コロナ禍前の取り組みを少しずつ再開できるよう取り組む意向である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆どの方が金銭管理は難しく、ご家族の同意の上、ホームで管理をしている。必要なものや希望があれば、ご家族に相談をして購入できるよう支援している。	殆どの方が金銭管理は難しく、ご家族の同意の上、ホームで管理をしている。必要なものや希望があれば、ご家族に相談をして購入できるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じ支援している。ご家族や知人より手紙は届くが手紙での返信はできてなく、電話でのやり取りはできている。ご家族より用事でホームに電話があったり、ご本人に贈り物等あった場合は、できるだけご本人の声も届けるように心がけている。又、ホーム便りでの近況報告、「敬老の日」や「母の日」は事前にメッセージカードをお願いしている。	希望に応じ支援している。ご家族や知人より手紙は届くが手紙での返信はできてなく、電話でのやり取りはできている。ご家族より用事でホームに電話があったり、ご本人に贈り物等あった場合は、できるだけご本人の声も届けるように心がけている。又、ホーム便りでの近況報告、「敬老の日」や「母の日」は事前にメッセージカードをお願いしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には、季節の花や植木等で季節感を出し、リビングには、利用者様と一緒に制作した、四季感のある折り紙や飾り付け。台所から食事作りの匂いと音、生活感や季節感を感じながら、明るく刺激のある話題を提供。適切な温度調節を行い、過ごしやすい環境づくりに努め、笑顔のある穏やかな雰囲気づくりに工夫している。	玄関には、季節の花や植木等で季節感を出し、リビングには、利用者様と一緒に制作した、四季感のある折り紙や飾り付け。台所から食事作りの匂いと音、生活感や季節感を感じながら、明るく刺激のある話題を提供。適切な温度調節を行い、過ごしやすい環境づくりに努め、笑顔のある穏やかな雰囲気づくりに工夫している。	リビングには入居者と職員が制作した季節の飾り付けがあり、入居者がゆっくりと過ごせるようにソファなどの配置を工夫している。感染対策のため、手すりやドアノブなども毎日消毒を行い、清潔感が感じられる。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名:さくら)	実践状況(ユニット名:こすもす)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中通して皆さん一緒に、リビングにて談笑やTV視聴等、思い思い過ごしておられる。お互い気の合う方の傍にいたり、トラブルにならないよう、座る場所を考慮し工夫している。昼食後は、個々の希望に応じ居室でゆっくり休まれるよう支援している。	日中通して皆さん一緒に、リビングにて談笑やTV視聴等、思い思い過ごしておられる。お互い気の合う方の傍にいたり、トラブルにならないよう、座る場所を考慮し工夫している。昼食後は、個々の希望に応じ居室でゆっくり休まれるよう支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に利用者様とご家族が相談され、好みの家具や馴染みの物等設置されている。又、居室の壁面には、ご家族の写真や思い出の写真、敬老の日や母の日に送られたメッセージカード、色紙等を飾り、ご本人が安心し居心地よく過ごせるよう、ご家族との繋がりを大事に、いつでも身近に感じていただけるよう工夫している。	入居時に利用者様とご家族が相談され、好みの家具や馴染みの物等設置されている。又、居室の壁面には、ご家族の写真や思い出の写真、敬老の日や母の日に送られたメッセージカード、色紙等を飾り、ご本人が安心し居心地よく過ごせるよう、ご家族との繋がりを大事に、いつでも身近に感じていただけるよう工夫している。	居室にはベッドとエアコンは備え付けであり、そのほかは自宅で使っていたタンスや椅子など、馴染みの物の持ち込みが可能であり、位牌や家族の写真などが持ち込まれている。職員は、毎日、居室の清掃を行い、入居者が居心地よく過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや廊下の手摺り、ベッドの手摺り等調節し障害物を排除。不安や危険をなくし、自立した生活が安全にでき、残存能力を活かした生活リハ、現状維持が保てるよう支援に努めている。各居室に名前プレートを掲げ、トイレ等分かりやすい目印を貼付け、個々の力を活かし、できるだけ自立した生活が送れるよう工夫している。	トイレや廊下の手摺り、ベッドの手摺り等調節し障害物を排除。不安や危険をなくし、自立した生活が安全にでき、残存能力を活かした生活リハ、現状維持が保てるよう支援に努めている。各居室に名前プレートを掲げ、トイレ等分かりやすい目印を貼付け、個々の力を活かし、できるだけ自立した生活が送れるよう工夫している。		